

わが心、高原にあり

野里征彦著

岩手県大船渡に住む若い久男は、内陸の隣町の山林で自死を図りますが、

本の泉社
1540円

一人暮らしの老人・耕さんに助けられます。久男は耕さんの家で暮らしながら、今まで知らなかった人間らしい暮らし、過疎の厳しさ、キノコ採りや山仕事の面白さに目覚めていきます。耕さんは、上手な生き方とは「自分でけんかをしないこと」と語る豊かな知恵の持ち主。巨大な防潮堤より「松島とベニスを合わせたような街」にすれば一大観光名所になると、若々しい発想も持つ魅力的な人物です。

1/17 「赤松日報」